



▲学校に設置されている防犯カメラ

中根 光男 議員



▲残土現場

佐藤 文雄 議員

Q 市長は、石岡斎場組合管理者に斎場移転計画の見直し案を提出しましたが、具体的な協議、合意に至ったのか、いまだに報告されず千代田地区の市民は非常に不安を募らせております。

A 市長 事業の縮小見直しと財政支出の削減をお願いしていますが、話し合いは継続中です。斎場部分については

Q 不安が募る石岡斎場移転計画の現状と市長の今後の対応について伺う

A 市長は、石岡斎場組合管理者に斎場移転計画の見直し案を提出しましたが、具体的な協議、合意に至ったのか、いまだに報告されず千代田地区の市民は非常に不安を募らせております。

Q 現状と市長の今後の対応について伺う。

A 市長 事業の縮小見直しと財政支出の削減をお願いしていますが、話し合いは継続中です。斎場部分については

Q さまざまな犯罪が突発的に発生している社会状況下の中、子どもの安心・安全を優先すべく、事前の対策として防犯カメラを設置することが犯罪の抑止力になると思いますが、その認識と今後の具体的な計画について伺う。

A 市長 頻発する校内のいろいろな事件等を目にするのと、ご指摘の防犯カメラの設置については、極力対応したいという考えです。ただ、限られた財源ですので、年次計画を立てる等、その中で対応したいと思

質問事項

1. 石岡斎場移転計画について
2. 保育所、児童館、小中学校に防犯カメラ設置について
3. 小中学校におけるいじめについて
4. 低所得者福祉について
5. 危険度の高い通学路に対するガードレールの設置について
6. 市街化区域における空地の適正な維持管理について

Q 下土地内への残土問題の解決に向けた今後の改善策について伺う

A 水質追跡調査の実施と施工業者への刑事告発及び残土条例の改正をすすめる

Q 9月16日、市長をはじめ担当部長と幕の内区長さん等との打ち合わせを実施したが、その際確認した事件解決に向けた合意事項について報告を求める。

A 環境経済部長 市が現場に追跡調査用の観測井戸を設置すること。条例違反による施工業者に対する刑事告発をおこなう。残土条例の改正による厳格化を図ること等ですが、条例改正については、ストックヤー

Q 市長は土浦市との合併に熱心だが、土浦市長の反応はあまり芳しくないようだ。どこまで話し合いが進んでいるのか伺う。

A 市長 当市の財政事情が非常に困難な状況になっていきます。現実的には学校の耐震化工事や神立駅西口開発など、そ

Q 下土地内への残土問題の解決に向けた今後の改善策について伺う

A 水質追跡調査の実施と施工業者への刑事告発及び残土条例の改正をすすめる

Q 9月16日、市長をはじめ担当部長と幕の内区長さん等との打ち合わせを実施したが、その際確認した事件解決に向けた合意事項について報告を求める。

A 環境経済部長 市が現場に追跡調査用の観測井戸を設置すること。条例違反による施工業者に対する刑事告発をおこなう。残土条例の改正による厳格化を図ること等ですが、条例改正については、ストックヤー

質問事項

1. 残土問題の今後の改善策について
2. 入札監視委員会の入札改善提言について
3. 地元中小工業者の仕事おこしの施策について
4. 生活排水対策における公共下水道加入促進策と事業の全面的見直しについて
5. 国保加入者の負担能力に応じた国保税への引き下げについて
6. 高すぎる介護保険料の引下げについて
7. 向原土地区画整理組合への税金投入問題について
8. 水道料金の引き下げ・見直しについて
9. あじさい館の利用向上の施策について（交通費割引等の実施）
10. 土浦市との合併構想について

小松崎

誠 議員



▲市長公用車〔ハイブリッド車(右)〕

Q 市長専用の公用車が2台あるが、その理由は

A 経費負担の軽減に努めるため、2台を適宜状況に応じて使用しています

Q 市長が使用している公用車の利用状況について専用の公用車が2台あると伺っているがその理由を伺う。

A 市長公室長 市長の指示により、現行の市長公用車廃止を検討したところ、リース期間満了前に契約を解除すると多額の損害金が発生することから、経費負担の軽減に努めるため、市内出張、庁舎間の移動等については、職員用に管理をしていた燃費のよいハイブリッドカー

Q 市長公室長 市長の指示により、現行の市長公用車廃止を検討したところ、リース期間満了前に契約を解除すると多額の損害金が発生することから、経費負担の軽減に努めるため、市内出張、庁舎間の移動等については、職員用に管理をしていた燃費のよいハイブリッドカー

A 市長 国ではまだ明確にはなっておりませんが、平成

23年度からの実施という方向のようですので、これを少し見きわめる必要があると思います。もし国がだめになれば、本格的に検討する必要があると思いますが、いずれにしても少し状況を見たいと思います。

古橋

智樹 議員



▲T字路道路改良予定箇所(稲吉二丁目)

Q 市長の掲げた全員一致団結の姿勢について伺う

A 基本的には話し合いを基調に進めなければならぬと考えます

Q これまでの経過において、周辺市町村、同市議会、市役所内、さまざまな団体、審議会等の事前の相談協議が、時に十分なまま市長のみで意思決定がなされ、そのことにより不安、隔たり、弊害があらわれているように見受けられますが、市長の掲げた全員一致団結の姿勢について伺う。

A 市長 独創英断との、自覚はしておりませんが、斎場の問題、国保税の問題、あるいは人件費等の削減について、基本的には話し合いを基調に進めなければならぬと考えております。

Q 国保加入者が3割ともされる中で、偏った税金投入することについて伺う。

A 市長 市町村段階での国保の運営というのは、もう限界に来ており、早晩これは広域化される方向にあるわけですが、その間は何とか忍んで一般会計からの投入で他市町村との均衡を図っていく必要があると考えております。

Q 市長 独創英断との、自覚はしておりませんが、斎場の問題、国保税の問題、あるいは

質問事項

1. リーダーシップの本質は、独創英断より協調性であるべきことについて
2. 現世代の国保負担軽減へ多額の税金の見切り投入について
3. 医療費の無料という選挙公約を掲げた市長の責任について
4. 稲吉2丁目の県・市道T字路道路改良について

質問事項

1. 霞ヶ浦庁舎を中心とするまちづくりの構想について
2. 公用車の利用実態について
3. 子宮頸がん等予防ワクチンの助成早期実現について
4. 市税のうち軽自動車に係る未納金について



和田 正美 議員

Q 市内の小中学校、特に中学校での授業放棄や不良行為等に対し、状況悪化の防止策、状況解消策について考えを伺う。

A 教育長 生徒の心の中にあるさまざまな問題を一つ一つ解決し、改善に向け努力をしております。

当然、目標を持って熱心に取り組んでいる生徒に安心・安全な教育環境を整えることも大切であり、それらを阻害する問題行動に対しては、職員一人一人

Q 学校での授業放棄や不良行為等についての対策は

A 職員が毅然とした態度で臨むよう指導してまいりたい

が毅然とした態度で臨むように学校に指導してまいります。

学校だけでは対応し切れない状況に対しては、児童相談所や警察等の関係機関と対応を協議し、協力し合って解決を図ってまいります。

Q 新規事業の実施においては、費用が必要な事業については、当然、費用の負担計画について検討されると思うが、宮嶋市長就任後に提案されている事業については、どのような考

A 市長 これまでも事務事業の民間委託の推進、職員定数の削減など、行政のスリム化が図られてきました。行政改革の推進に当たっては、従来からの改革の継続、見直しも重要ですが、改革に終わりはなく、試行錯誤も伴うものであります。これからも全職員の協力のもとに意識改革を図り、無理、無駄のカットや効率的な行政運営を目指し、今後も行政改革を継続してまいります。

A 市長 いろいろな意見もあるので新年度の対応として考えており、予算編成に向け事業や補助金の見直し等、さらには議員や職員の人件費など、財政全般の見直しを考えております。あくまでも従来の財政の配分を変えていくということ、捻出された財源を新たな事業に充てたいと考えております。

質問事項

1. 行政の財政能力に応じた行財政運営、事業推進について
2. かすみがうら市内産業の活性化構想について
3. 保育・教育行政改革について
4. 執行部提案の議決必須案件について



廣瀬 義彰 議員

Q 協働と共創で住民満足度を高めていくには、住民ニーズを的確にくみ取り、政策に反映させていくことが重要と思うが、方策を伺う。

A 市長公室長 市民ニーズの把握という点では、市民提案制度、市民懇談会、庁舎窓口におけるお客様アンケート、さらには、9月から市民と市長がひざを交え直接対話する「市長と語りう〜まちづくりミーティング」なども開催をしております。

Q 行政改革大綱は、取り組みの方針、推進計画、まちづくりに向けた推進体制の強化を図るべく、第2次まで策定されていますが、行政改革について、市長の考えを伺う。

A 市長 これまでも事務事業の民間委託の推進、職員定

数の削減など、行政のスリム化が図られてきました。行政改革の推進に当たっては、従来からの改革の継続、見直しも重要ですが、改革に終わりはなく、試行錯誤も伴うものであります。これからも全職員の協力のもとに意識改革を図り、無理、無駄のカットや効率的な行政運営を目指し、今後も行政改革を継続してまいります。

Q 協働と共創で住民満足度を高めていくための方策は

A 市民の声を、行政運営や事業推進にできる限り反映してまいりたい

市民の皆様の声、行政運営や事業推進の中にできる限り反映していきたいと考えております。

質問事項

1. 行政改革大綱について
2. 首長に求められるトップの段取り力と目標設定について
3. まちづくりと自治体活動について
4. 地域の個性と自治体職員について
5. 都市部からの流入人口を増やすための施策について
6. 市の営業力について
7. 団塊世代に対する方策について

石井 幸雄 議員



▲地場産品を使った学校給食

Q 市の発展には人口増加策が不可欠だが、市長の施策等を伺う

A 交流人口を増やすことにより地域の活力を高めていきたい

Q 市の発展には人口増加策が不可欠です。当市は、年々人口減少を生じていますが、都市計画マスタープランにも対応策等が講じられておりませんが、市長としての人口増加施策等を伺う。

A 市長 定住人口の増加も大変大事ですが、交流人口を増やすことにより地域の活力を高めていきたいと考えております。このため、湖山の宝プロジェクトの活用を図りながら、通

勤通学、文化、スポーツ、買い物、観光など人々の日常的な交流を図っていく中で、とりわけ板橋区との交流を深めていきたいと考えております。

Q 地域全体の利益や活性化を図る目的として地産地消の推進を図る取り組みが展開されていますが、当市の学校給食の食材の利用度、さらには大幅な食材導入が可能かどうかを伺う。

A 環境経済部長 農産物の地産地消としての地域での消費拡大は、農業を振興する上でとても重要な事と考えます。学校給食では、これまで地場産米コシヒカリやレンコン等を取り入れていただいておりますが、今後の地場産品の導入につきましては、これまでの実践をもとに推進に努力していきたいと考えております。

質問事項

1. かすみがうら市の活性化対策について
2. 農業振興策について
3. 学校給食センター建設について

平成22年 第1回臨時会審議

平成22年第1回臨時会が、12月22日開催され、提出された案件（2件）を審議し否決いたしました。

議案第89号
かすみがうら市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

〔否決〕

議案第90号
かすみがうら市職員の給与の特例に関する条例の制定について

〔否決〕

▽平成23年1月から平成23年3月31日までの3カ月間、職員給与の一律5%減額を行うものです。

平成23年 第1回臨時会審議

市議会議員改選後、初の臨時会が平成23年2月8日開催され、議会の構成等を決定しました。

- 選挙第1号 議長選挙
- 選挙第2号 副議長の選挙
- 選挙第3号 湖北環境衛生組合議会議員の選挙
- 選挙第4号 新治地方広域事務組合議会議員の選挙
- 選挙第5号 石岡地方斎場組合議会議員の選挙
- 選挙第6号 茨城県後期高齢者医療広域連

合議会議員の補欠選挙

議案第1号

平成22年度かすみがうら市一般会計補正予算（第6号）

〔可決〕

議案第2号

かすみがうら市監査委員の選任について

〔同意〕

閉会中の所管事務調査について

〔決定〕

—人事案件—

〔監査委員〕

山内 庄兵衛 （上佐谷）
平成23年2月8日 同意